

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	成人看護学援助論Ⅱ	2	45	2年次	6月	田中紀代美 吉田麻衣子 大塚 美里 岡村 沙織 高松三穂子

授業概要

成人期における健康障害の症状から、全ての分野で学んだ知識を統合し、生活の援助を中心に知識と技術を学ぶ。

到達目標

成人期における免疫系の疾病、消化・吸収、女性生殖器の疾病を障害された対象の看護の方法が理解できる

使用教材

テキスト：①系統看護学講座 成人看護学[1] 成人看護学総論；医学書院

②系統看護学講座 成人看護学[4] 血液・造血器；医学書院

③系統看護学講座 成人看護学[11] アレルギー・膠原病 感染症；医学書院

④系統看護学講座 成人看護学[5] 消化器；医学書院

⑤系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝；医学書院

⑥系統看護学講座 成人看護学[9] 女性生殖器；医学書院

参考文献：浅野嘉延他；看護のための臨床病態学，南山堂

看護過程に沿った対症看護（第4版），学研

病気がみえる vol.5 血液、vol.1 消化器、vol.3 糖尿病代謝内分泌、vol.9 婦人科・乳腺外科、メディックメディカ

消化器疾患・糖尿病代謝内分泌疾患・腎泌尿器疾患・婦人科・乳腺外科疾患ビジュアルブック，学研

評価

筆記試験

授業計画

時間・回数	授業内容	方法
3時間・2回	1.慢性的な経過をたどる健康障害をもつ対象の看護 (慢性病、病みの軌跡、サルコペニアとリハビリテーション)	講義

1. 生体防御機能（血液・リンパ・免疫系）に障害をもつ対象の看護（10時間）

時間・回数	授業内容	方法
2時間・1回	1.検査を受ける対象の看護 1)骨髄穿刺時の援助 ※骨髄穿刺針準備	講義
2時間・1回	2.治療・処置を受ける対象の看護 1)骨髄移植・幹細胞移植術 (1)移植時の倫理的配慮 2)血液の取り扱い、輸血時の看護（GVHD、アブフィキシー）	講義
5時間・3回	3.疾患をもつ対象の看護 1)白血病の対象の看護 2)免疫不全のある対象の看護 (1)膠原病の対象の看護（生活指導含む） (2)ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症／後天性免疫不全症候群（AIDS）での生活指導	講義
1時間・1回	筆記試験（1 生体防御機能、2 栄養の消化・吸収機能の内容を含む）	

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	成人看護学援助論Ⅱ	2	45	2年次	6月	田中紀代美 吉田麻衣子 大塚 美里 岡村 沙織 高松三穂子

2. 栄養の消化・吸収機能に障害をもつ対象の看護（14時間）

時間・回数	授業内容	方法
2時間・1回	1.検査を受ける対象の看護 1)内視鏡検査をうける対象の看護 2)造影検査を受ける対象の看護	講義
4時間・2回	2.治療・処置を受ける対象の看護 1)手術療法を受ける対象の看護（腹腔鏡下手術を含む） (1)手術前の看護 (2)手術後の看護 ①チューブ・ドレーン類の管理 ②術後合併症の予防	講義
8時間・4回	3.疾患をもつ対象の看護 1)食道疾患をもつ対象の看護（食道がん） (1)外胆汁ろうの管理と指導 (2)胆嚢摘出後の合併症予防 2)胃切除術を受ける対象の看護(合併症予防と生活指導) 3)腸切除術を受ける対象の看護 ①低位前方切除術後の合併症予防と生活指導 ②人工肛門造設術後の合併症予防と生活指導 ③ストーマケア 4.肝硬変症の対象の看護 1)食道静脈瘤の破裂予防・硬化療法の合併症予防 2)肝動脈塞栓術の合併症予防と生活指導 3)肝性脳症の予防と生活指導 4)肝庇護の生活指導 5)黄疸の生活指導 5.慢性膵炎の対象の看護 1)生活指導	講義

3. 内部環境（内分泌）・代謝機能に障害をもつ対象の看護（10時間）

時間・回数	授業内容	方法
9時間・5回	1.疾患を持つ対象の看護 1)糖尿病の対象の看護 (1)糖尿病の食事指導・運動療法の指導 (2)インスリン療法について (3)経口糖尿病薬の服薬指導 (4)インスリン自己注射の指導 【実技：インスリン注射・血糖測定】 (5)糖尿病の合併症予防の生活指導 2)甲状腺疾患の対象の看護 (1)甲状腺切除時の生活指導	講義 実技

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	成人看護学援助論Ⅱ	2	45	2年次	6月	田中紀代美 吉田麻衣子 大塚 美里 岡村 沙織 高松三穂子
時間・回数	授業内容					方法
	3)高脂血症・高尿酸血症の対象の看護 (1)生活指導 4)対象のセルフケアを支援する援助					
1時間・1回	筆記試験 (3 内部環境・代謝機能 4 女性生殖器を含む)					

4. 女性生殖器に障害をもつ対象の看護 (8時間)

時間・回数	授業内容	方法
8時間・4回	1.女性生殖器障害の対象理解と看護の役割 2.症状・病態に対する看護 3.主な女性生殖器疾患の対象の看護 1)子宮の疾患 2)卵巣の疾患 3)乳房の疾患 4.主な治療・処置を受ける対象の看護 1)手術療法 2)化学療法 3)放射線療法 4)ホルモン療法	講義
備考	事前に該当する解剖生理、成人期の発達特性、疾病論、薬理学など復習して授業に臨む。	